

# 国鉄輸送力増強事業(2)



ラカバン駅内陸コンテナターミナル

## 借款概要

承諾額/実行額	13,631百万円 / 7,845百万円
借款契約調印	1993年9月
借款契約条件	金利3.0%、返済25年(据置7年)
貸付完了	1999年1月

## 事業概要

同国第7次五ヵ年計画(1992~96年)に対応し、鉄道輸送力の増強のため、老朽化した車両の更新、コンテナおよびセメント輸送需要増大にあわせた新規車両の調達を行うもの。

## 評価結果

当初予定どおり調達されたディーゼル機関車38両(うち、14両は老朽機関車の更新、24両は新規購入)およびコンテナ貨車99両の利用状況(稼働率)はほぼ計画通りであり、同国経済の回復にしたがって、輸送量は増加しつつある。

タイ国鉄全体の貨物輸送量は経済危機の影響を受けて、全般的に減少しているが、コンテナ輸送は増加しており、輸送物資の構成内容は当初より変化している。

同国鉄のコンテナ輸送の90%を占め、本事業の効果が最も発現すると考えられる東部臨海工業団地関連でも、経済危機の影響から輸送量が計画を下回っているが、経済回復が進むにつれコンテナ輸送は増加しつつある。こうした鉄道網の整備が東部臨海開発地域の物流に貢献し、関連各種事業の効果発現を支援している。

修理技術・修理工場内の体制に問題はないものの、資金不足のため十分な新規投資が行えないことから、予算の確保が今後の重要な課題である。